平成22年度科学技術振興調整費概算要求方針

資料2－1

科学技術振興調整費とは

○総合科学技術会議の方針に基づく科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整のための経費として計上された政策誘導型の競争的資金（文部科学省が具体的研究課題等の公募・配分等の事務を実施）

総合科学技術会議

- 概算要求の基本方針
  - ・実施すべきプログラムの概要及び選定の考え方を提示
- 配分の基本的考え方
  - ・予算案全体を把握の上、プログラムの内容、概算等を提示
- 配分方針
  - ・公募状況を踏まえ、配分額を提示

→

文部科学省

- プログラムに係る概算要求
  - ・基本方針等に沿ってプログラムを設定し、概算要求
- プログラムにおける実施課題の公募
  - ・実施要綱及び公募要領の作成、実施課題の公募を実施
- 実施課題の審査、交付
  - ・実施課題を審査（審査部会）、調整費を交付

平成22年度科学技術振興調整費概算要求方針（案）

1．基本的考え方

鳩山内閣の基本方針、新たな資源配分方針（平成21年10月8日決定）に沿って、低炭素社会の構築等に向けたグリーンイノベーションの推進に重点を置いて、新規プログラムの創設と継続プログラムを推進

2．社会システムの転換とイノベーション創出の一体的推進

研究開発と研究成果の実利用・普及段階で障害となる社会システムの転換とを一体的に推進することで、イノベーションを創出する新規プログラムを展開

平成22年度は、温室効果ガスの削減目標達成に向け、グリーンイノベーション創出の推進による低炭素社会の構築に重点を置く

併せて、「人の命を大切にし、国民の生活を守る」に鑑み、健康長寿社会の実現や安心・安全な社会の実現に向けた施策を推進

3．世界をリードする科学技術、それを支える人材の育成等の着実な推進

革新的技術推進費については、低炭素社会の構築に向けた革新的技術の加速に重点を置いて推進。 また、既存プログラムについては人材育成強化等に留意しつつ、推進